

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 6522

# レジガードCFボンド

1. 一般名 含浸接着用エポキシ樹脂（春秋形）  
 2. 規格 社内規格  
 3. 特徴 1) 炭素繊維シートに対する含浸性にすぐれている。  
 2) プライマー、パテ及び含浸接着用樹脂との相互接着性にすぐれている。  
 3) 耐酸性、耐アルカリ性及び物理特性にすぐれている。

## 4. 塗料性状

項目		内容		
容姿		2液性		
荷姿		9kgセット（主剤：6.0kg、硬化剤：3.0kg）		
色相		半透明青色		
光沢		つや有り		
密度 (23°C)	硬化物	1.2		
	揮発分	—		
加熱残分		100%（理論値）		
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C
	指触	—	—	—
	半硬化	24時間	10時間	6時間
	標準膜厚	—		
引火点		SDS参照		
発火点		SDS参照		
爆発限界（下限～上限）		SDS参照		

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

## 5. 塗装基準

項目		内容		
下地処理		プラスト又はワイヤーブラシ処理		
調合法		主剤：100部、硬化剤：50部（重量比）		
可使時間	5°C	20°C	30°C	
	150分	75分	30分	
洗浄シンナー		レジガードシンナーA		
塗 装 法	施工方法	刷毛塗り、ローラー塗り		
	希釈率	—		
	標準使用量	0.80 kg/m <sup>2</sup> ・回		
	標準膜厚	—		
	ウェット管理膜厚	—		
施工間隔	温度	5°C	20°C	30°C
	最小	24時間	16時間	10時間
	最大	7日	7日	7日

注）標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

## 6. 施工上の注意

- コンクリート面のレイトランス、塩分、油脂、湿気、塵埃、水分その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に性能を発揮しないばかりか、硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。硬化反応が進んだ材料はシンナーを加えても使用できない。
- 施工間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので必ず規定時間以内で塗り重ねを終了する。尚、規定時間以上経過した場合は、材料表面をサンドペーパー或いはパワーブラシ等にて研磨し、さらにウエスで拭いて調整してから施工する。
- 施工終了後の使用器具は直ちにレジガードシンナーAで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。
- 施工後短時間内に雨に当たると硬化物が白変する恐れがあるので注意する。

## 7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	指定可燃物	第4類第4石油類
有機溶剤区分	—	—
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

## 8. 使用上の注意【警告】

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。